

焼津市「小1サポーター」 全教室配置体制スタート

新入学児の不安解消へ

焼津市の小学校で8日、入学式が行われ、1年生の全教室に支援員「小1サポーター」を配置する体制がスタートした。学校生活になじめなかったり、不安を覚えたりする児童に寄り添い、新しい生活を支える。

市立焼津西小では、入学式を終えた新入学児が初めて教室に入ってきた。小1サポーターは、緊張した表情をみせている児童に一人ずつ、笑顔で話し掛けた。



長谷川さんは小1サポーター14年目のベテラン。「入学したばかりの時は不安や緊張で体調を崩す児童もいる。早く学校に慣れるように近くで寄り添いたい」と話した。担任の増田比佐乃教諭(33)も「授業中、どの子にも平等に大人の目が行き届くことになる」と頼りにする。

市は昨年度、26人を配置した小1サポーターを本年度は42人に増やした。市内13校の全42学級に一人ずつ配置した。学校生活になじめない「小1プロブレム」の対応に当たる。昨年、現場の教諭や保護者から小1サポーターに対して好意的な意見が多く寄せられ、市独自の取り組みとして強化を決めた。(焼津支局・尾原素也)

新入学児に声を掛ける小1サポーターの長谷川さん(左) 焼津市立焼津西小